

第31回 国立大学法人横浜国立大学経営協議会議事録

日 時 平成23年 6月14日 (火)
15時00分～16時20分
場 所 事務局第1会議室

出席者 鈴木邦雄 (議長), 國分泰雄, 溝口周二, 竹下典行, 松岡和久, 山田 均
川村恒明, 小舘香椎子, 林 英樹, 蛭田史郎, 和田英太郎, 和地 孝

議事に先立ち, 学長から新任の部局長の紹介があった。

議 事

I 議事録確認

第30回議事録(案) (附1) について, 原案のとおり確認した。

II 報告事項

1. 平成23年度学内重点化競争的経費第1次配分について

議長から, 資料2に基づき, 学長戦略に基づく事業経費, 全学的な大学改革に必要な戦略的経費, 部局及びセンターにおける重点プロジェクト経費, 部局長戦略分などの学内重点化競争的経費の第1次配分について報告があった。

2. 平成23年度節約見込額の活用 (第1次) について

理事 (財務・施設担当) から, 資料3に基づき, 平成23年度節約見込額の活用 (第1次) について報告があった。

3. 全学を対象とする寄附金の受入れ (平成22年度) について

議長から, 平成22年度の寄附受け入れが, 現金1件, 現金以外1件及び創立60周年記念募金があった旨報告があった。

4. 平成22年度及び平成23年度「業務の合理化・簡素化に向けた改善策」について

理事 (財務・施設担当) から, 資料4-1～4-2に基づき, 中期計画期間中の効率化係数 (大学改革促進係数) による運営費交付金の減少や人件費等の削減に対応するため, 職員からの提案に基づく業務の合理化・簡素化に向けた改善策の平成22年度実績及び平成23年度計画について報告があった。なお, 平成23年度計画については, 特に若手職員からの意見を取り入れた旨説明があった。

5. 平成22年度及び平成23年度「経費節減及び収入増のための方策」について

理事 (財務・施設担当) から, 資料5-1～5-2に基づき, 職員からの提案に基づく経費節減及び収入増のための方策の平成22年度実績及び平成23年度目標について報告があった。

III 審議事項

1. 平成23年度組織改編について

理事 (総務・研究担当) から, 資料6-1～6-5に基づき, 機器分析評価センターとRIセンターの職員組織を一体化し, 業務の活性化と効率化を図るため機器分析評価センターと RI センターを統合すること並びに平成21年3月に策定された情報化ブランドデザインに沿った IT マネジメントの体制づくり及び高度化を図るための情報戦略推進機構の設置等について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。

- 情報基盤センターについて、ICT教育を追加したと考えてよいのか。
 - ・従来からもICT教育の支援は行っているが、それを今回規定化したものである。
- RIの教育は行っているのか。
 - ・大学院生が施設を利用するための基礎的な教育は行っているが、一般的な講義は行っていない。

2. 平成23年度計画の変更について

副学長（評価担当）から、資料7に基づき、平成23年度の補正予算成立に伴う平成23年度計画の変更について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

3. 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

副学長（評価担当）から、資料8に基づき、国立大学法人評価委員会に提出する平成22年度の業務運営面等の実績に関する報告書案について説明があり、審議の結果、「項目別の状況」年度計画【23-2】の進捗状況を【Ⅲ】から【Ⅳ】に修正のうえ、承認された。

○自然系教育の担当教員が大幅に減っているがこれでよいのか。

・自然系教育の担当教員が減少したのは、教育学研究科を担当した教員が環境情報研究院に移行し、最終的には理工学部へ移ったことが原因である。本学としては、理数系教育を、部局を超えて大学全体としてサポートをしていくことを考えている。

○ドクター、特にポストドクを海外に派遣することをどう考えているのか、大学独自の派遣制度がない場合、例えば外部機関の学振にどのくらい応募しているのか。

・短期の海外派遣制度については、交流制度などがあるが、長期（1年）となると外部の学振に応募することとなる。応募数については、調査の上お知らせしたい。

○全学的な女性教員比率、特に理工系の女性教員比率はどのくらいか。

・事務系の女子職員については、平成22年8月のデータで33%、女性教員については、平成21年度のデータで15.4%となっている。また、女性教員の平成21年度の採用者数は24.4%であり、教員のうち4人に1人は女性を採用していることになる。

○女性教員が高い数値であれば、Webなどで広くアピールした方がよい。そうすれば、女子学生も増えるし、優秀な女性教員の応募も増えると思う。

4. 平成22年度決算（案）について

理事（財務・施設担当）から、資料9に基づき、平成21年度決算案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

5. 平成24年度概算要求事項（案）について

理事（財務・施設担当）から、資料10-1～10-2に基づき、特別経費、施設整備費要求事業並びに組織要求について説明があり、続いて理事（総務・研究担当）から、資料10-3に基づき、設備機器に関するマスタープランについて説明があり、今後、文部科学省との折衝により要求内容の変更等については、役員会に一任することとし、審議の結果、原案のとおり承認された。

6. その他

1. 東日本大震災に係る諸規則の整備について

理事（教育担当）から、資料11-1～11-2に基づき、「災害救助法の適用を受けた災害の被災者等に対する入学料免除等の特別措置について」及び「東日本大震災対応による特別科目等履修生及び特別研究生について」について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

以上